

坂本あずまお議員の掲げる政策

将来

新しい価値観
今までと違った資金運用
最新技術と情報の駆使
今だからこそできる新しい政策形成で、二期目の区政に挑みます！
＝
安心してきて、明るく楽しく暮らせるまち

人・まち・行政 3つの柱

行政

財政を支える世代が減っていくなかで、生活保護などの社会保障費は増大し、建物や道路などの公共施設は一斉に更新時期を迎え、莫大な整備費用が見込まれます。短期的効果と長期的利益は、どちらをどれだけ重視すべきでしょうか。目先の利便性だけでは決断できない。強い決断を今こそ提言していきます。

まち

放置自転車、緑の整備、交通利便と安全性。東京中の共通課題には、総合的な将来ヴィジョンと共に、地域の状況に適った細かい施策を求めます。

人

力強い教育は家庭から。家庭の絆を深め、地域の大人がつながりを持ち指導する体制を整えます。行政が今すべきこと、手厚い保護をするところ、競争するところ。確かな見極めにより、明るく豊かな将来を目指す子供を増やします。

① 学力・体力・精神力の向上を！

では、どうすればよい？

提言



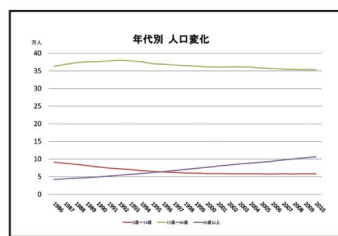
起こりうる問題

- ▲ 税金不足で公共施設や道路の改修が間に合わない！
- ▲ 医療・介護・年金で個人負担や税金が急増？！
- ▲ 都心と近隣都市に人が集中して板橋は素通りされる？！

このままでは危ない！

リスク

■年代別・人口推移



板橋区では10年ほど前から子供の数は横ばい、働き盛りが減少をたどり、65歳以上では25年も前から増え続けている。

いたばしの現状

これまでの四年間の議員活動を通じて得た経験と知識の中で、板橋区で今起きている問題、これから起こりうる問題、抱えるリスクが明らかになってきました。安心して暮らせるまちづくりのため、あずまお議員は、板橋区の現状と問題点、それに対する政策を提言します。

◆ 財政構造の変化

福祉費・社会保障費の増加／景気が回復しなければ増税は免れない／リーマンショック以降、貯金の切り崩しが続く

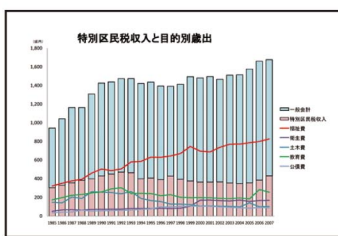
◆ 人の構成の変化

少子高齢化でも板橋区では子供の数は減っていない／共働きが増え保育所が足りない／生活保護、医療、介護費用の増加

◆ 社会生活の変化

情報ネットワーク化で加速する時代の変化と伝達スピード／価値観の多様化／交通網の発達による人の移動速度アップ

■区税収グラフと目的別歳出



伝統文化

Volunteer

地域活動

Activities

地球環境



今年一月二十二日グランドプリンスホテル赤坂で行われた第七十八回自由民主党大会前夜祭において、あずまお議員は寿獅子を舞いました。これは、昨年十二月の区政報告会で披露したあずまお議員オリジナルの獅子舞を見て大変感動した丸川珠代議員の強い推薦によって実現したもので、我が国と自民党の弥栄を祈念して、国会議員ならびに全国の自民党支部関係者ら二千

●第七十八回自民大会前夜祭で獅子舞を演舞

今年一月二十二日グランドプリンスホテル赤坂で行われた第七十八回自由民主党大会前夜祭において、あずまお議員は寿獅子を舞いました。これは、昨年十二月の区政報告会で披露したあずまお議員オリジナルの獅子舞を見て大変感動した丸川珠代議員の強い推薦によって実現したもので、我が国と自民党の弥栄を祈念して、国会議員ならびに全国の自民党支部関係者ら二千



丸川珠代議員も大絶賛！

獅子舞の映像はYouTubeで配信中！



区政報告会2010が成増アクトホールで開催され、一年間の活動報告と、これから五年後十年後の板橋について、あずまお議員自身のえがくビジョンを語りました。第二部懇親会では、特別なステージが披露されました。「伝統文化の継承と後継者の育成」を大きなテーマとして掲げ、自ら里神楽を通じてその大切さを語り続けてきたあずまお議員は、「ただ古いものを守るだけではない。古き良きものを次世代の子供たちに受け継がせていくためには、その時代に合った流れのな

●坂本あずまお区政報告会・2010 里神楽 — 伝統の継承から、文化の創造へ

十二月十八日

かで、新しい文化を創造してゆくことが必要だ」と考え、自身の区政報告の場で、新しいスタイルの獅子舞に挑戦し、披露しました。同世代で歌舞伎座などを中心に活躍されているお囃子の方々とのご縁をいただき、「和と洋・夢のコラボレーション」が実現、初めて見る舞台・初めて聞く音楽に、誰もが驚き感動しました。演舞の後、丸川珠代参議院議員が壇上に上がり心強いエールを送ってくたさり、最後は四月の統一地方選に向けて共に闘い抜くことを決意し、元気なガンパローコールで盛大な区政報告会をしめくくりました。

●板橋区民まつり

十月十六日・十七日

板橋が誇る秋の二大イベント、区民まつりと農業まつりが開催され、多くの人でにぎわいました。あずまお議員は阿波踊りに参加しました。大山駅周辺で行われた区民まつりのテーマは「ようこそ！おもてなしのまち板橋へ」。一方、赤塚体育館周辺で行われた農業まつりのテーマは「農業を支える緑の大地」といいたばし力でした。



●板橋農業まつり

十一月十三日・十四日

地元離れが加速する中でこうした伝統ある区の行事をもっとうまく活用すること、今後、板橋区の地域振興・産業・農業に活気が戻ることを期待します。



●ゴーヤ収穫祭・2010

八月二十一日

恒例の「ゴーヤ収穫祭」がホテルカデツア光が丘で開催され、地元成増で収穫されたゴーヤをふんだんに使った料理とともに楽しい夏のひと時を過ごしました。夏の風物詩として定着してきた「みどりのカーテン・ゴーヤプロジェクト」も四年目を迎えます。「環境対策のなかに収穫のよろこびを」というテーマで歩むこの事業。今年の夏も豊作を願います。

●成増天神祭り

十月二十四日

成増の鎮守の神様「菅原神社」で秋の例大祭「成増天神祭り」が開催され、お神輿、神楽、大道芸、琵琶演奏などの催しに多くのお祭りファンが集まりました。地元の方々によるボランティアのおかげで成功を収めたお祭りは、地元活性化に効果的なだけでなく、人々のつながりを深める機会を提供すると気付かれます。今後このようなお祭りが開催されることを願います。



谷垣総裁の頭も噛み噛み

